

日本共産党埼玉県議団ほっとNEWS

NO. 19

2011年9月29日 日本共産党埼玉県議団 048-824-3413

現場をみるということは真剣に検討します（知事）

久喜市の液状化地域は、県内最大の被災地、知事は現場をみるべきだ、
村岡県議が迫る

9月30日、村岡県議が埼玉県議会9月定例会の一般質問に立ち、東日本大震災の被災者支援を始め震災対策や、医師確保対策、県立小児医療センター移転問題、公契約条例と住宅リフォーム助成制度、ハツ場ダム、県立川口特別支援学校の過密解消策、原発依存からの転換、TPP問題について、知事らに質しました。
(詳しくはホームページをご覧ください)

久喜市の液状化地域へ、県の支援を特に久喜市の液状化被災地域の住宅へ、国と市が支援する予定であるのに対して、知事が県全体の損壊住宅が多数であることあげて、県の支援を拒否したのに対して村岡県議は再質問。「久喜市の液状化地域は、県内最大の被災地だ。知事は先日、東北の被災地を訪問し『こんなことがあっていいのか』と感想を述べた。現場を見たからこそだ」と、久喜市の現場を見るように迫ったのに対して、知事は「真剣に受け止める」と答弁せざるを得ませんでした。

川口特別支援学校の過密解消にあらゆる努力を

また、川口特別支援学校の過密解消について、「草加の支援学校の開校以降、特別支援学校の新設の計画はない」という教育長の答弁に対して「ちいさな校庭に1000人以上が集まる運動会。廊下での体育の授業。運動会では『ゆっくりと走れ』廊下では『早く走れ』と指導する。草加特支の開校くらいでは過密解消など計れない。過密解消のための真剣な努力を求めると迫りました。

狭山茶から高濃度のセシウム検出 県の責任を問う

狭山茶から暫定基準値を超えるセシウムが検出された問題では、県の検査によって検出できず、国や業者の自主検査によって検出された責任を厳しく追及。知事は「責任を痛感している」と答弁し、お茶以外の食品の検査もインターネットや直売などモニタリング調査を拡大すると答えました。